

仕事と2人の子育て実践中の主婦が考えた、 家づくりで失敗しないための10のポイント



1. 家事が楽にこなせる動線の間取り
2. お掃除がしやすい間取り
3. 物がスッキリ片付く家づくり
4. 家族が自然と集まってくるリビング作り
5. 『この家ステキ!!』と思われる
外構と家のコーディネート
6. 主婦の城。キッチンのいろは
7. メンテナンスフリー?の家なんて
怖くて住めない。
8. 大事なお金の話し
9. 大切な家族の生命と財産を守る。
10. 家族の笑顔が絶えない家づくり

1. 家事が楽にこなせる動線の間取り

家事動線とは、住宅内で炊事や洗濯など、家事をする際に人が動く経路のことです。家事には終わりがありません。だから主婦の仕事も終わりがありません。

でも、主婦だって息抜きしたい～。たまにはのんびりしたい～。

少しでも自分の時間を上手に作るために、家づくりのこの機会に無駄な動作がないかチェックしてみましょう。

例えば、洗濯は1階で済ませるけど、干すのは2階のベランダ。重たい洗濯物を毎日1階から2階へ運ぶことは重労働です。

だったら1階で干すか、2階で洗濯すればいいのです。

または、キッチンの並びに洗濯機があると横の動きだけで並行して洗濯ができます。

まずは、今の生活での家事動線と、不満なところを考えてみましょう。

自分スタイルでオリジナルの間取りが出来ることが、家づくりの楽しいところです。

2. お掃除がしやすい間取り

家を建てる则ち掃除面積は今より必ず広くなります。

『えっ！そんなこと耐えられない。』と思われる方は、もう一度家づくりについてお考え直し下さい。

広くなった分、掃除しやすい間取りを考えましょう。

部屋数が多いと、一部屋一部屋の掃除で手間がかかります。一軒に一部屋ってわけにはいけません。子供部屋に主寝室、もしかしたら書斎や家事室も必要かもしれません。

部屋をしっかりと間仕切ってしまうのではなく、大きな部屋を将来的に分けられるようにしておくと、掃除はかなり楽になります。子供さんが小さいときはご家族皆さんで大きな一部屋で川の字になって寝るのもいいものですよ。（うちもこの方法です。家族4人で2LDKの家です。）

また、部屋と廊下の敷居に段差があると掃除はとてもしにくいです。掃除機は引っかかるし、敷居の段差部分にはホコリは溜まるし・・・いい事なんて一つもないです。

『家の中の段差をなくす』ことは安全と同時にお掃除も手軽になります。

毎日する掃除だからこそ、無駄なく楽にこなせる間取りにすることをオススメします。





3. スッキリ片付く家づくり

『収納』は主婦にとって永遠のテーマです。

しかし、物は年々増えていくばかり。なかなか捨てられないなど、いろいろな原因があると思います。収納スペースの割合は様々な観点から研究されていて、延床面積の12%~20%が適当といわれています。この数字はあくまでも一般論なので、各ご家族で多少変わってきます。

収納方法はいろいろありますが、収納を得意と自負している方以外は実践することは大変だと思います。(私も雑誌などで収納方法を仕入れては挫折をしてきました。)

収納といえば、《クローゼットや押し入れ、物置を多くとる》という概念があります。

しかし、私の経験上、細々とした収納スペースが多いと、物は多くなるし、結果詰め込んでしまいます。(私がただすぼらなだけ??)しかし、全く収納がないというのは問題外ですが、むやみに『収納、収納』とする必要はないと思います。

それより多目的な広めの収納スペースの確保をおススメします。

例えば、広めのウォークインクローゼットに婚礼家具一式や家族みんなの衣類を収納する。一箇所で衣類やかばんや小物が収納してあると、お出かけの準備も短時間でスムーズ。

家具が部屋に出てこないのも、空間を有効的に使うことができます。

物が多いキッチンでは、小さくなくてもいいので、使いやすい場所に食品庫のような収納スペースがあると、とても便利です。

家づくりをきっかけに今の住まいの要らないものをチェックして、大掃除してみるのもスッキリ片付く家づくりの近道ですよ。

4. 家族が自然と集まってくるリビング作り

お子さんが小さいと一日の大半がリビングでの時間だと思います。(我が家もリビングが生活のすべてでした。)

しかし、成長していくにつれ、だんだん子供たちも自室での時間が多くなっていきます。(自分の思春期の頃もそうでした。)

家族の成長と共にリビングの役割が異なってきます。

今から始める家づくりで、将来のライフスタイルまで考えて家づくりをすることは、難しいです。でも一生住む家を建てるのですから、自分たちの将来のライフスタイルも考えながら家づくりをしてみましょう。

間取りを考える時に、リビング、ダイニング、キッチンの位置関係をどうするかがとても重要になってきます。大まかに3タイプに分けることができます。キッチンをリビング、ダイニングと同じ空間に位置づけるLDKタイプ。キッチンとダイニングを一つの空間にまとめたDKタイプ。キッチンだけが一つの空間に独立した独立タイプです。

最近ではLDKタイプが多いです。LDKタイプの特徴は仕切りがないということです。その分家族の存在をいつも感じるすることができます。

DKタイプや独立タイプは料理には集中できるので、お料理好きの人にはおススメです。

『リビングからの階段にする』という間取りも浸透しています。

これも賛否両論です。私も階段とリビングの位置で悩みました。

『おかえり、ただいま、はいくつになっても顔をみて言いたい』と親の立場からは思っていました。子供の立場で考えると、親の顔を見たくない日もあるだろう、と自分の経験上思ったのです。

あれこれ悩んで、やっぱりリビングからの階段にしました。子供の気持ちも考えて、顔がチラッとリビングから見える程度の位置に階段を持ってきました。

我ながらナイスアイデア！！

どんな間取りでも最終的には、日頃のコミュニケーションがなによりも大切なですね。

5. 『この家ステキ！』と思われる外構と家とのコーディネート

最近はこの家もおしゃれな外観になっています。

特に、家づくりをしようかなとお考えのあなたなら、いろいろな家が気になると思います。

私も街を散策しながら家を見て歩くことが大好きです。

しかし、家と外構とのコーディネートができて家って結構少ないです。

家はシンプルモダンなのに、外構はレンガ造りだったり、もしくは家の周りに砂利しか敷いていなかったりする家が多いです。確かに外構は結構費用がかかります。しかし、外構も家の一部なのです。

だから、家づくりは外構も一緒に考えてほしいのです。家ができてから、違う業者さんをお願いすることも結構多いと思いますが、出来れば、家を建築した業者さんと相談して施工するほうがいいです。

なぜなら、打ち合わせにたくさんの時間をかけ、お互いの考えが分かり、あなたのご家族の好みを熟知しているからです。

6. 主婦の城！！キッチンの い・ろ・は

一日何時間キッチンで過ごしますか。今のキッチンは使いやすいですか。使いづらいキッチンでは効率良く料理が出来ません。では、あなたが理想とするキッチンはどんなタイプですか。

1. クローズドキッチン（独立型）

ダイニングから独立した一つの部屋としてプランするキッチンです。

においや煙が広がりにくいので、お料理が得意な方にむいているキッチンともいえるでしょう。その反面、ご家族とのコミュニケーションがとりにくいため、『一人でキッチンにいる』時間が長くなります。寂しがりやさんにはむかないタイプのキッチンです。

2. セミオープンキッチン

ダイニングとの仕切りを工夫すれば、オープンな雰囲気を保ちつつ、キッチン内の雑然とした部分を隠すことが出来ます。調理中や後片付けの時でも、ダイニングにいるお子様の

様子を見ながら、ご家族とのコミュニケーションをとることができます。しかし、オープンキッチンほど思い切った開放感は得られません。

3. オープンキッチンタイプ

ここからはキッチン、ここからはダイニング、といった隔たりを感じず、自由に行き来することができます。コミュニケーション重視の気さくなキッチンです。キッチンが大きな空間の一角になっているので、広々とした明るい空間を作ることができます。その結果、ダイニングからキッチンの中が丸見えになります。だからいつもキッチンを片付けておく必要があります。

どのタイプもメリット、デメリットがあります。『自分にはどのタイプ使いやすいかなあ?』と今の生活をベースに考えて見て下さいね。ちなみに私はおもいきってオープンキッチンにしました。片付けと見せる収納を常に考えています。(お客様が来るときだけね)

7. 《メンテナンスフリー?》の家なんて怖くて住めない!!

家は10000点以上のパーツから出来ています。家の各箇所や部位によって、それぞれ耐久年数が違うのをご存知ですか。家はなにも手を入れないで、永久的に安全に住み続けることは出来ません。誤解しないでほしいのですが、決して手抜き工事だからと言う意味ではありません。

家を長持ちさせるためには、修繕や修理が必要な箇所の早期発見です。

そのために、定期的な点検と、築年数にあったメンテナンスをしていくことです。

家を購入するときには、必ず、維持費(メンテナンス料)を頭に入れておいて下さい。

ほとんどの建築業者は日々試行錯誤を繰り返し、まじめに一軒一軒建築しています。

だから購入後もちゃんと私たちの建築した家には責任を持ちます。

家づくりはこうしたアフターメンテナンスのことも一緒に考えてくれる建築業者さんをおススメします。

8. 大事なお金の話し

お金の話しは家づくりを進めていくために、始めからしっかり計画を立てましょう。

頭金の有無、借入れの金額、返済計画など契約をする前に計画を立てることが大切です。

返済計画はこれからの生活に関わってきます。借入期間は何年にするのか、ボーナス併用で返済するのか、借入期間全て固定金利を選択するのか、今の状況で自分はいくらまで借入れ出来るのか、各ご家庭のご事情などで変わってきます。

お金の話しをすることに抵抗を感じていませんか?もちろん誰にでも話せることではありません。しかし、自分たちにあった正確な情報を入手しようと思われるのなら、ぜひ、お金のことも含めて自分たちの思いを話してみてください。もちろん話すまでにきちんと信頼関係が築けていることが大前提ですよ。

お金のことで家づくりのテンションがグーンと下がってしまった場合は、もう一度自分たちにとって、家づくりが本当に必要かどうか考え直して下さい。無理な住宅ローンを組んで、ハッピーではない生活を選んだりしないで下さい。家づくりの基本は『家族がハッピーになること』ですから。

9. 大切な家族の生命と財産を守る

デザインがカッコいい！！設備がステキ！！

もちろん家づくりでは気になる要素です。でもちょっと待ってください。

家はカッコいいだけでいいですか？ステキなキッチンが装備されていればいいですか？

違いますよね。安心して、安全な生活を送れることが何より重要な事ですよね。

私たち建築業者は日々、勉強です。技術は日進月歩です。私たちは常にお客様のご家族の生命と財産をお預かりしているのだと思い、家づくりをしています。(熱く語ってしまいました)

安全に暮らすアイデアを一つご紹介。

今の寝室の状況を思い出してください。寝室にタンスや机などの大きな家具が置いてありますか？もし、就寝中に地震がきたら・・・その家具はあなたの大切なご家族を直撃しませんか？こうした危険を少しでもなくすために、広めのウォークインクローゼットをおススメしています。お持ちのタンスなどの寸法を予め測って、ウォークインクローゼットの広さを決めます。ウォークインクローゼットにタンス類をまとめることによって、地震のときにタンス類の下敷きになることもありません。また、衣類が一箇所にあることで、衣類の片付けが楽になります。こうしたアイデアで、少しでも安全を意識した間取りを考えてみてはいかがでしょうか？そのためにはプロの知識を上手にご利用下さいね！！

10. 家族の笑顔が絶えない家づくり

家づくりは『家族がハッピーになること』

家づくりを進めていくと、いろいろな問題や疑問や不安などが次から次とでてきます。

建築するまで長い道のりの方や、アツという間に全て決まってしまう短い道のりの方、ご家族によって家づくりの過程はさまざまです。

新居の建築完成がゴールではありません。あくまでも家は『ハード（物）』です。

そこに住むご家族の『ハート（愛情）』が一番大切です。

家づくりで衝突することもあるでしょう。しかしそこにご家族のハートがあれば、必ず解決します。

あなたの家づくりが成功することを祈っています。

